

授業で使える写真素材 III-4

「彼女について考えてみよう」(50分)

対象/中学生・高校生

1. プログラムの趣旨

震災発生前、私たちは日常生活がそのまま続く、これが普通の生活だと考えていた。児童、生徒の多くは災害について何の危機感ももっていなかった。しかし、震災は想像以上の出来事であり、多くの被災者がいのちが助かったことに対して、喜びだけでなく苦悩を抱えた。

今、被災者の写真を見ることで、震災の状況を知る。その上で、震災を経験した被災者の立場を想像し、理解することで相手の苦痛を知り、相手の立場や思いやる心、人の役に立とうとする態度を養い、いのちの尊さ、かけがえのない自他を尊重する心を育む。

2. ねらい

震災後の写真を見て、震災の状況を知ることによって、いのちを守り、いのちをつなぐとはどういうことかを考える。

そして、助かったいのちに対しての感謝の気持ちがある一方で、自分が助かったことに対して素直に喜べない葛藤を感じ取る。被災者の立場を理解し、思いやる心、どうすれば役に立てるかを考えさせ、内面的な成長を図る。

3. 展開

段階	学習内容	教師の支援・指導上の留意点
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 日頃、カメラを向けられたらどうするか。 震災の時、何年生だったのか。 写真をじっくり見せる。(2分) 	<ul style="list-style-type: none"> 非日常的なことを感じ取らせる。 当時のことを思い出させる。 写真から彼女の気持ちを想像させる。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> プリントを配布し、回答させながら生徒の理解を図る。 [プリントの内容] ①写真の印象や感想。 ②彼女はどんな思いでいるか。 ③いのちが助かったことを、どう思っているか。(喜べる。素直に喜べない。) ④あなただったらどうか。 ⑤地域に対してどう考えるか。 ⑥10年後の彼女を想像しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントの回答をする。 写真から震災の事実を知る。 彼女の思いを感じ取り、被災者としてどう思っているか想像する。 彼女の被災者としての立場、少年、周囲の人々の思いを想像する。 いのちを考える。 地域を考える。 未来を考える。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 本時のふりかえり。 彼女に手紙を書こう。 相手の立場を理解し、自分のできることをしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 手紙を書くことで、他人を思いやる心や、人の役に立とうとする態度を養う。 相手の立場にたって、想像することの大切さを知る。

写真を見て「彼女について考えてみよう」

○次の問いに自分の考えを書きなさい。

①写真の印象や感想。

②彼女はどんな思いでいるか。

③いのちが助かったことを、どう思っているか。（喜べる。素直に喜べない。）

④あなただったらどうか。

⑤地域に対してどう考えるか。

⑥10年後の彼女を想像しよう。

○彼女に手紙を書こう。

